

令和5年度湖西市職員KAIZENグランプリ

○市長賞

受賞	改善名	改善前	改善後	節約経費・時間
高齢者福祉課	介護保険負担割合証封入業務の効率化	介護保険負担割合証(有効期間1年間)は毎年、介護認定を受けている対象者など約2,800人に発送。 封入作業については、印字された専用紙を①負担割合証、②宛名部分、③余白部の3つに切り分けた後、定型汎用窓あき封筒に封入し発送していた。	専用紙を三つ折りすることで封入できるよう、ミシン目位置の変更し、三つ折りサイズに対応する専用封筒を作成した。 切り分けることなく送付できるため誤送の防止につながった。 封入作業をワーク支援ステーションへ依頼することが可能となり、職員が削減された封入時間を他の業務に充てられるようになった。	70時間

○副市長賞

受賞	改善名	改善前	改善後	節約経費・時間
環境課	残骨灰有効活用・処理方針の転換(委託→売却)	火葬業務により排出される残骨灰は、無害化処理や残骨の埋葬(永代供養)の業務を委託処理していた。 受託業者は、見積を確認し決定するが、複数社が「0円」で提出し、くじ引きで決定していた。	他都市で残骨灰に含まれる有価物を回収売却し、歳入としている事例を受け、分別や残骨の埋葬などの適正な処理を条件とした売却契約を行った。 事業者間での競争が働き、半年分で1,036,200円の収入を得ることができた。	1,036千円
産業振興課	市内高校生向け企業ガイダンス「湖西JOBフェア」の合同開催	R4年度から新居高校と湖西高校の各校において、就職希望の2年生を対象に企業説明会を実施。 【新居高校】R4.11.7 新居高校武道場 出展企業数7社 【湖西高校】R5.1.20 湖西市アムニティプラザ 出展企業数26社	R5年度からは湖西市アムニティプラザを会場に、新居高校と湖西高校合同での開催とした。今回は就職希望の生徒だけでなく進学希望者へも対象を広げ、市内企業の魅力をより多くの生徒に伝える内容へと変更した。 参加学生にとっても、一度の機会でも多くの企業を知ることができ、企業にとっても、一度で多くの学生と接する場となった。 【新居・湖西高校合同開催】R5.12.11 湖西市アムニティプラザ 出展企業数29社	15時間

○部長賞

受賞	改善名	改善前	改善後	節約経費・時間
DX推進課	水道スマートメーターデータ取得状況確認作業の自動化	メーターからのデータは、1時間ごとにシステムに送信される仕組み。送信時にエラーが発生することがあり、データが正しくシステムに届かないケースがある。正確な送信状況を自動で確認する仕組みがなく、メーターのデータは72時間で消えてしまうため、職員は毎日、システム操作により送信状況を確認し、再送信の遠隔指示を出す必要があった。このため、3連休以上の際には職員がシステム操作のパソコンを持ち帰り、休日も含めてこの確認作業を行っていた。	スマートメーターからのデータ取得状況を自動で確認し、エラーが発生しているメーターを特定。送信エラーが検出された場合に自動で再送信の遠隔指示を出す機能を備え、72時間のデータ保持期限内にデータを確実に取得できるようにした。 職員が手動で確認する必要がなくなったため、作業負担の軽減とデータ取得の正確性向上を実現した。 ChatGPTを活用してPythonのコードを出力できる能力に着目し、開発した。これにより、有料RPAツールを導入することなく、問題を解決することができた。	363千円 66時間

○職員賞

受賞	改善名	改善前	改善後	節約経費・時間
総務課	例規集もDX推進	各課等で所有する例規集の改正箇所の差替えを年4回行っていたが、データでの確認が主となっているため、紙ベースでの差替えを廃止した。	各課による年4回差替えのための搬入・搬出作業がなくなり、差替えに伴う費用の削減も行うことができた。	556千円 136時間